



さん が

第 七 四 号

平成 二 四 年
西 曆 二 〇 一 二 年
孟 蘭 盆 七 月 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一
TEL 〇七五-六三一-二二七二
FAX 六三二-五七二五
E-MAIL sanga@tounji.net

棚経(お盆のお参り)について

お詫びと、おことわり

東運寺では、八月一日から十六日にかけて、住職と東堂(先代住職)の二人が手分けをして、三〇〇軒あまりのお参りにお伺いしております。

ところが六月に入って東堂に加療が必要となり、お医者さまから静養を命じられたため、今後の棚経は住職が一人でつとめさせて頂くことになりました。

残念ながら、これまでお盆にお参りしてまいりましたところすべてに、一人だけでお伺いすることは叶いません。

ですので、たいへん心苦しいところなのですが、今年よりお参りする範囲を限らせて頂くことになりました。



それにもない、今までお盆にお参りしてまいりましたお宅に

- ・お伺いする日や時間が大きく変わるところ
 - ・お伺いすることができなくなるところ
- ができることとなります。

お盆のご案内については、

このお便りに、「日時の「連絡」

もしくは「お伺いできないお詫び」を

同封させて頂いております。

ご確認をお願いいたします。

また、例年十三日と十四日にお伺いしている淀のみなさまのところは、日には変わりませんが、**時間が大きく遅れるお宅**が出てくるかと思っております。

どうか事情をお酌み取り下さり、あしからずご諒承下さいますよう、重ねてお願い申し上げます。

「晋山式（しんさんしき）」に向けて（1）

この春にもご披露申し上げましたように、

来年（平成二十五年）五月二十六日（日）

東運寺の「晋山式」を行うことになりました。

「晋」は「すすむ」「山」はお寺を意味します。

「お寺にすすむ」つまり、住職として正式に就任する儀式のことです。

本来は、新しい住職が初めてそのお寺に入るときに、式をするのだそうです。現代では、住職としてある程度時間がたち、まわりに認められてから行うようになりました。ですが、今でもその名残として、新住職が門前の道を歩いてお寺にやってくる行事があります。お稚児さんや五色の幡などに美しく彩られた、お祝いムードいっぱい行列です。

そして、この日のために集まった、大勢の和尚さん方の出迎えを受けて山門から入り、まつられている仏さまそれぞれに焼香してまわるのです。

住職にとって、一世一代の大行事となります。これから時間をかけて、お寺の役員さんとともに準備を重ね



てまいります。あわせて、本堂脇に収納の工事なども行っていく予定です。

なお、今回の晋山式を準備するにあたって、特別なご寄付をお願いすることはありません。

晋山式については、引き続きこのコーナーで紹介してまいります。どうぞお楽しみに。

ごども禅の集い



- ・日程 七月二五日（水）～二六日（木）
- ・内容 福井県大野市・宝慶寺（ほうきょうじ）での研修
児童科学館「エンゼルランドふくい」や淡水魚水族館「アクアトぎふ」の見学
- ・参加費 一万円
- ・集合 京都駅八条口

若いお坊さんたちと遊びながら、いろいろなことを学んでもらえると思います。

「厳しいけれど楽しかった」「食事の前に手を合わせるようになった」などのお言葉もいただいています。くわしくはいつでも、お寺までお問い合わせ下さい。